

自転車利用実態定点調査報告

平成27年 11 月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 10 月 30 日
[午前]9:00~10:00

調査場所 ・ 白金幼稚園前 (庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から 70m 程の上り坂)

概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り 4 車線及び歩道:幅員 3.1m
[一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道		←	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		}	
	←直進レーン			
	←左折レーン			
	←左折レーン			
	歩道	↑		
		白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査結果

No.	走行状況			車種	乗客	危険運転行為														
	車道左側	車道中央	歩道			肩に荷物	ハンドルに荷物	立ち漕ぎ	子乗せ	後部席に荷物	片手運転									
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
21																				
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				

調査日時	平成 27 年 12 月 10 日
調査時間	10:00 ~ 11:00

＜調査票＞

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、27%であり、また、車道中央走行率も、20%、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割強を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(16件)・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ(各5件)子乗せ後部席に荷物掛け・片手運転(各1件)の順となっている。

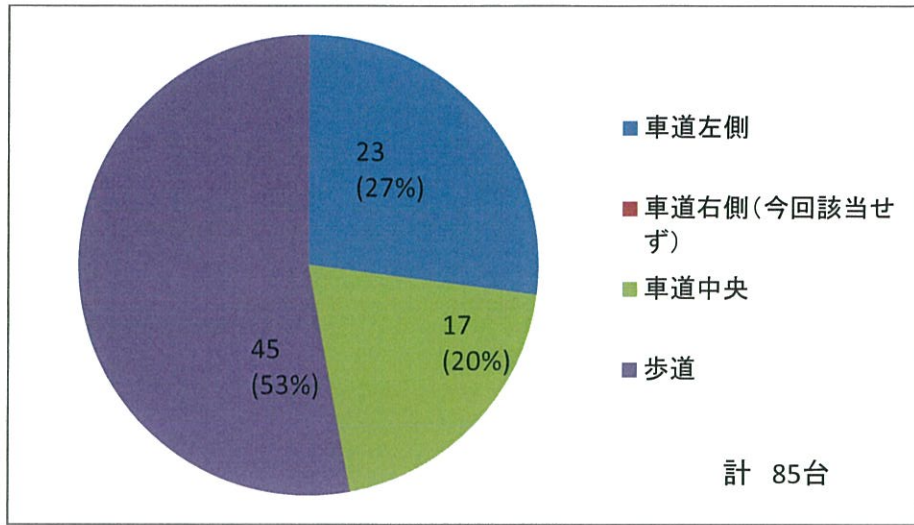
【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の10/29午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

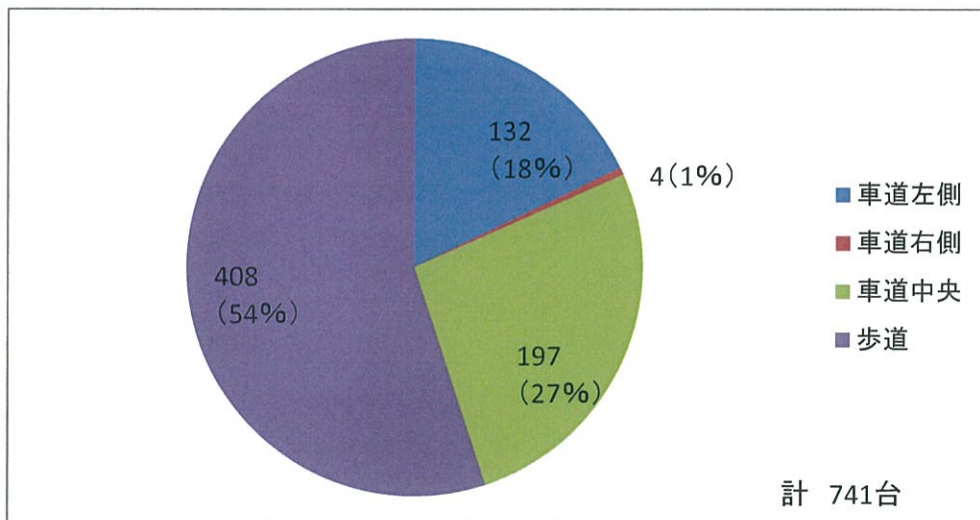
今回(27%)に対し、前回(16%)の約1.7倍の水準。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・27%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・25%)と、ほぼ同様



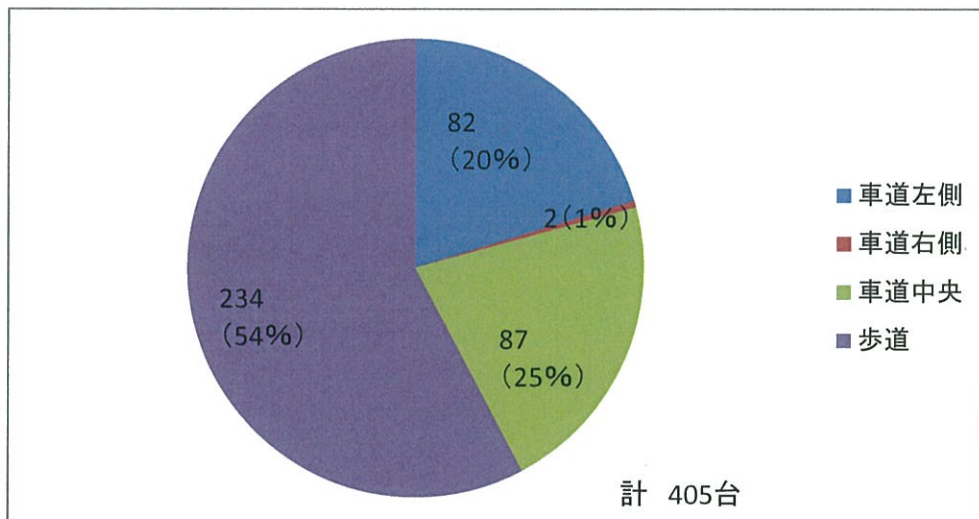
走行空間

* 参考)



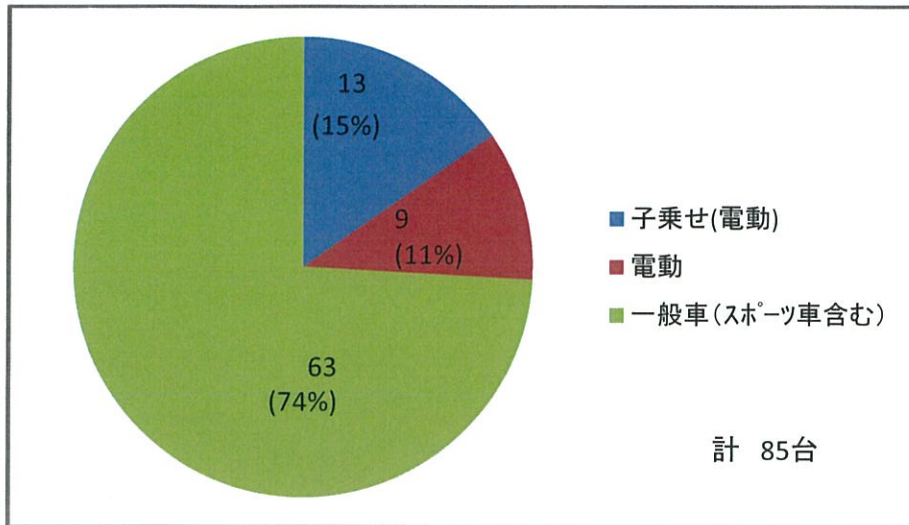
走行空間

調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)

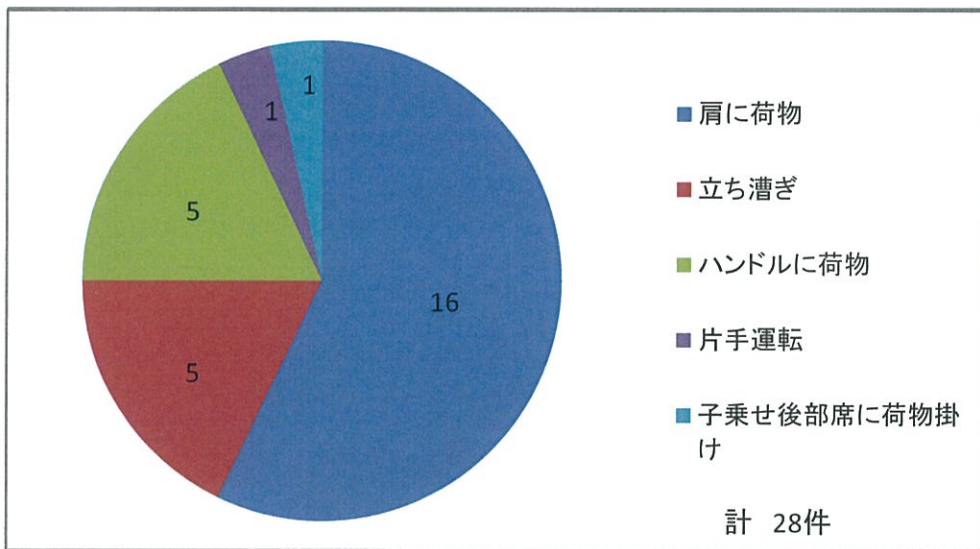


走行空間

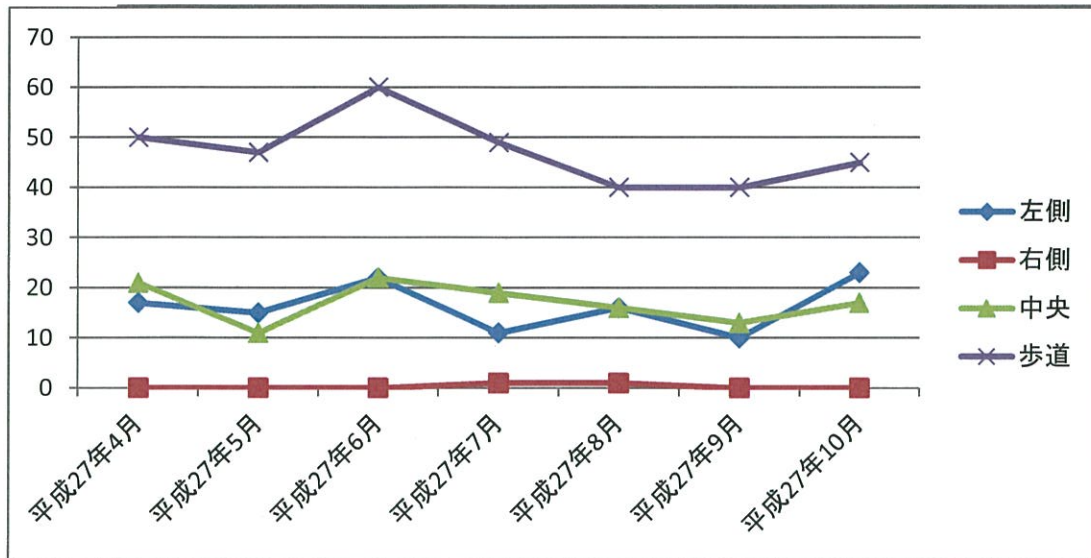
調査期間 27.6~27.10 (道路交通法改正後)



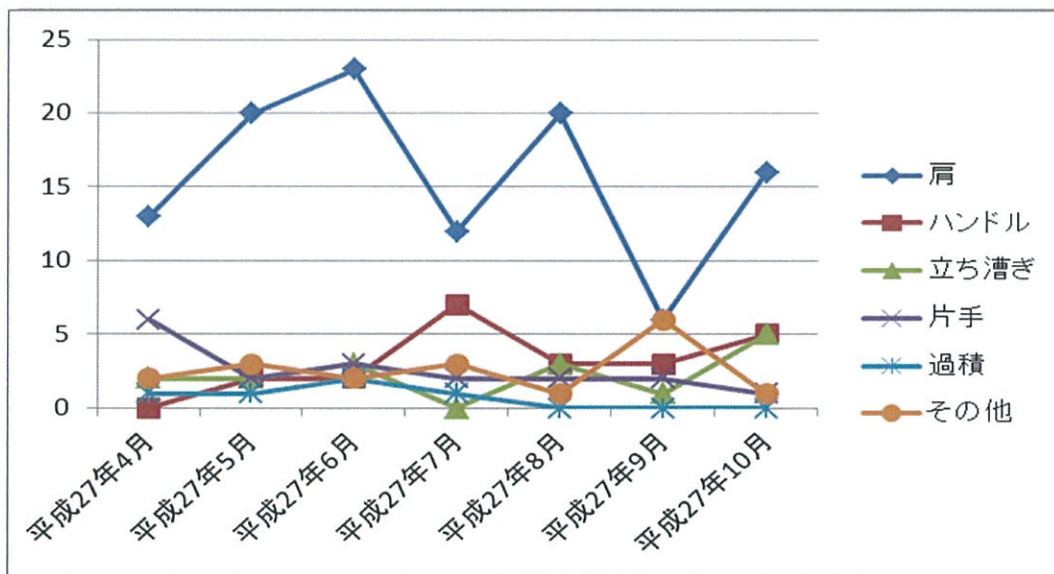
車 種



危険運転行為 (違反行為を含む)



走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)